

### コース3

移動距離 約3.9km

移動時間(徒歩) 約70分(滞在時間は含まれておりません)

## 三鷹駅 武蔵野市役所コース

スタート 三鷹駅北口

- ① 世界連邦平和像  
【説明:コース1の2】
- ② 三鷹車庫「跨線橋」
- ③ 堀合遊歩道
- ④ ぎんなん橋  
【説明:コース1の2】
- ⑤ 境浄水場  
【説明:コース1の3】
- ⑥ グリーンパーク遊歩道  
【説明:コース1の4】
- ⑦ 関前三丁目交差点付近  
【説明:コース1の5】
- ⑧ グリーンパーク遊歩道  
【説明:コース1の6】
- ⑨ 「武蔵野市平和の日」制定記念樹  
【説明:コース1の7】
- ⑩ 都立武蔵野中央公園  
【説明:コース1の8】
- ⑪ 大型説明板・  
中島飛行機武蔵製作所爆撃照準点  
【説明:コース1の9】
- ⑫ 都営武蔵野アパート  
【説明:コース1の10】
- ⑬ NTT 武蔵野研究開発センタ  
(外から見学)  
【説明:コース1の11】
- ⑭ 武蔵野市陸上競技場  
【説明:コース1の12】

ゴール 武蔵野市役所前

## 台座に戦没者の名簿

### ① 世界連邦平和像

三鷹駅の改札は、当初は南側だけだったが、1941(昭和16)年、増え続ける中島飛行機武蔵製作所や横河電機工場への通勤者の便宜を図るために北口(当時は武蔵野口と呼ばれた)が開設された。ロータリー中央、駿馬にまたがる女神像は長崎・平和公園の平和祈念像の作者である彫刻家・北村西望の作品で、1969(昭和44)年、武蔵野市世界連邦宣言10周年(1960(昭和35)年採択)を記念して建立された。台座には、世界各地の石がはめ込まれ、近代の戦争で犠牲となった現在の武蔵野市の戦死者266名の名簿が納められている。



### ② 三鷹車庫にかかるとの跨線橋

作家・太宰治は、戦争末期、甲府(山梨県)や故郷の北津軽郡金木町(現在は青森県五所川原市)に疎開した一時期を除き、1939(昭和14)年から入水して亡くなる1948(昭和23)年まで、現在の三鷹市下連雀に住んでいた。写真家・田村茂(1906～1987年)が、戦後一躍「時代の寵児(ちようじ)」となった太宰をこの跨線橋で撮影した写真は有名。1929(昭和4)年に完成したレール製の跨線橋は当時のままの姿を残しており、今も中央線の列車を見下ろしている。



なお、太宰は、1945(昭和20)年4月2日の中島飛行機武蔵製作所への空襲で被災し、これを機に甲府にあった妻の実家に疎開した。その後、甲府も空襲にみまわれ、ついに青森の実家へと再疎開、そこで終戦を迎えた。

### ③ 堀合(ほりあわい)遊歩道

幻の野球場、武蔵野グリーンパーク野球場は1951(昭和26)年、現在のUR住宅・緑町パークタウンがある場所に開設された。この野球場開設に伴い、中島飛行機武蔵製作所への引き込み線は、武蔵境駅から三鷹駅に付け替えられ、「武蔵野競技場線」となった。その後、野球場閉鎖とともに、この路線も廃止され、軌道跡に「堀合遊歩道」(三鷹市)ができた。



【参考】● 武蔵野市ふるさと歴史館 編『Target No.357～攻撃目標となった町、武蔵野～』(図録)

- 武蔵野女子学院同窓会くれない会 編『あの日をわすれないために——武蔵野女子学院生の戦争証言集』ぶんしん出版
- 牛田守彦・高柳昌久『戦争の記憶を武蔵野にたずねて 増補版』ぶんしん出版
- 牛田守彦『戦時下の武蔵野!——中島飛行機武蔵製作所への空襲を探る』ぶんしん出版